



東原っ子



鹿屋市立東原小学校

令和5年度 10月号

いつも身近に一冊の本を
読書の風を東原から



〈校訓〉
ひら 拓 き つく 創 り はばた 期 け

〈三つの約束〉 ありがとう ごめんなさい がまんする と 「まあ、いいか」
〈Three promises〉 Thank you I'm sorry Tolerate

読書の秋、「まちの図書館ひがっばい」へ

朝夕めっきり涼しくなり、過ごしやすい時期になってきました。秋真っ盛り、何をするにもうってつけの時期ですが、中でも、家族で読書に親しむのには、最適の時期です。

京セラの創業者で鹿児島県出身の故稲盛和夫さんは、「読書により自分自身の視野を広めること」の大切さを著書「成功への情熱」の中で、次のように述べています。

『娯楽としてだけではなく、自分自身を高め、そして磨くために努めて読書すべきだと思います。良い本を読むことを習慣づけて、そこに書かれていることを真剣に吸収するのです。』

仕事で夜遅く帰宅したあとでも、私は必ず本を読みます。いつもそばに置いてある中国古典や哲学についての本も読むのです。

お風呂の中で本を読むことさえあります。週末に休みが取れる時は、一日中本を読んで過ごすの大好きです。

忙しくて、本を読む暇などないと思われるかもしれませんが、どこにいても限られた時間のうちから数分をさいて、良い本を開き、内容に感銘することができるのです。

もちろん、人生において一番重要なことは、実際の経験を通して学ぶことです。しかし、読書は、それらの経験をもっと意味あるものにしてくれるのです。その上、本は、実際にはまず経験できないようなことも教えてくれ、頭の中でシミュレーションを行うことを可能にするのです。

自らの直接的な経験と読書を通して得られた間接的な経験は、人生で成功を収める上での精神的な基礎をつくってくれます。』

11月は、学校では、校内読書月間になっており、読書目標を決め、様々な取組を行います。この時期に、是非親子での読書を楽しんでみられてはいかがでしょうか。その手始めに、まずは、「まちの図書館ひがっばい」（東原小学校多目的室内）にお越しくください。有意義な大人向けの本を多数そろえております。

【台湾児童との交流】11月9日（木）から11日（土）まで ◎英語学習推進
台湾から国立台北教育大学附属小学校の児童10名と引率教員2名が来日し、東原小学校にて交流学習を行います。各学級で、交流のための自己紹介やレクリエーション・交流授業などの準備を進めているところです。外国や英語への興味・関心を高めてもらえたらと思います。

11・12月の主な行事予定					
11月1日	水	地域が育む「かごしまの教育」県民週間	12月1日	金	学級PTA、クロスカントリー大会
1日	水	学校自由参観～7日、道徳授業参観	9日	土	土曜授業日、人権集会
2日	木	歯っぴい教室	22日	金	終業式
9日	木	台湾児童との交流～11日			(1月9日始業式)
24日	金	学校運営協議会			

校長 森山 新二



(ニチニチソウ)
涼しくなり、花壇の様子も変わりつつありますが、まだ元気です。



東原小 10月の出来事



スポーツの秋 ハッスルプレーいっぱいソフトバレー大会



10月14日(土)は、保体部主催のソフトバレーボール大会がありました。学年別の対抗戦で、各試合白熱したラリーが見られました。ファインプレーや珍プレーが起きるたびに拍手や笑いが出て、とても楽しい時間になりました。決勝戦は1年対6年でした。一進一退のゲーム展開の中、見事1年生チームが優勝しました。

陸上記録会



10月24日に、市の陸上記録会がありました。5、6年生の選手22名が出場しました。この日に向けて練習を重ねてきました。

☆ 入賞おめでとう ※敬称略

税に関する絵はがきコンクール	<女性部長賞> 5年:I
県作文コンクール(市審査)	<特選> 3年:K 4年:K 6年:M <入選> 1年:K 2年:W 5年:H
詩文集「かのや」作品審査会	<特選> 1年:N(詩) 4年:A(詩) 5年:I(俳句) 6年:F(詩) <入選> 2年:I(詩) 3年:I(詩) 5年:Y(詩)、H(短歌) 6年:H(短歌)、K(俳句)
市人権標語コンクール	<特選> 2年:N <入選> 6年:M
理科自由研究	<特選> 2年:N 5年:I <入選> 2年:M 4年:M 6年:M K

お知らせ

☆ 読み聞かせグループ「どんぐりころころ」が市の優良読書グループとして表彰を受けました。(5月は市のPTA連合会からも表彰されました)これまでの取組が評価されてのことです。ご支援・ご協力ありがとうございます。

☆ 28日(土)に、事業部による資源回収が行われました。古紙やペットボトルなどを部員の皆さんが仕分けして、リサイクルに出しました。事業部の皆さん朝早くからありがとうございました。資源提供に協力いただいた皆様もありがとうございました。リサイクル代は8720円になりました。子供たちのために還元していきたいと思っております。